

すすきのアイスワールド 2024

(第44回) 開催結果について

- 1 会期 令和6年2月4日(日)～11日(日・祝)【8日間】
2 観客数 1,136,000人(前回比約122.9%)

回数	第44回	第43回	第40回
来場者数	1,136,000人	924,000人	948,000人

参考：第40回開催日程 令和2年2月4日(火)～11日(火・祝)
第43回開催日程 令和5年2月4日(土)～11日(土・祝)

3 氷像数

60基

前回：60基

4 結果について

(1) 来場者の状況

ア 総括

来場者数は、会場を昨年同様3分の2に縮小したが、開催期間中は、穏やかな天候に恵まれ、第43回比122.9%とコロナ禍以前を上回る人出を記録するなど、会場は大いに賑わいを見せた。

また、来場者のほとんどはネオンに輝く幻想的な氷像に魅了され、スマートフォンに収める姿が印象的であった。

氷像制作実演コーナーには多くの来場者であふれ、氷像制作中は固唾を吞んで見守り、完成すると大きな歓声と拍手が沸いていた。

「能登半島地震災害支援金」募金活動に、多くの来場者から一日も早い復興を願って多額の募金が寄せられた。

イ 来場者の具体的状況

(ア) 海外(欧米、韓国、台湾及び東南アジア諸国)からの観光客、家族連れやツアー客が見られた。

(イ) ガイドブック多言語版(1,300部)は好評で全て配布を完了した。

(ウ) 飲食店(ジンギスカン店・ラーメン店・鮎店等)は、長蛇の列が見られた。

(エ) 曜日別では金・土・日の来場者が多く、雑踏事故防止のため観覧順路を一方通行とし、砂まきをして転倒事故防止を図った。

(オ) 最終日(11日)は、約30センチの降雪あり、来場者はプロワーを使っての氷像雪払い作業に興味津々であった。

(2) 会場管理状況

ア 会期中は毎日、氷像状態を点検し「兆」があれば待機中の氷彫会員が確認、メンテナンスを施し維持管理に努めた。

イ 氷像の降雪を排除する等、常に来場者の目線で維持管理に努めた。

ウ 特に、ふれあい広場(Dブロック)は、家族連れや外国人及び子供に人気があり、監視ボランティアを配置し事故防止や写真撮影の補助に努めた。